

# 議会だより

発行 日の出町議会  
編集 議会だより編集委員会  
〒190-0192 西多摩郡日の出町平井2780  
TEL 042 (597) 0511  
FAX 042 (597) 4369



塞の神(どんど焼き)

## 平成 28 年 第 4 回定例会

- ・議案審議 PICK UP ..... 2P
- ・ **一般質問** 「町政を問う」 9人の議員 ..... 5P
- ・常任委員会視察レポート ..... 10P
- ・町民懇談会を開催しました ..... 11P

◆12月定例会 議案審議◆

日の出町では  
こんなことが決まりました。

12月定例会 11月30日～12月13日までの14日間

12月定例会議案

町長提出議案 23件  
議員提出議案 3件  
計 26件



今号では、4つの議案を  
**Pick up**

Pick up

1

町長及び副町長の給与を削減します

(議案第48号)

日の出町特別職の職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例

平成28年7月に保健センターにおいて発生した集団予防接種事故により、対象者の方々並びに町民の皆様にご心配とご迷惑をかけた責任を明らかにするために、町長及び副町長の給与を削減するものです。

主な内容

町長については、平成29年1月の給料月額から100分の10を、副町長については、100分の8を削減します。

Pick up  
2

平成28年度日の出町一般会計  
補正予算について

(議案第55号)

平成28年度日の出町一般会計補正予算(第4号)

一般会計について、歳入歳出それぞれ、5千330万円を減額し予算総額を89億6千100万円とするものです。

主な補正内容

歳入では、保育所運営費の増額に伴う国及び東京都負担金の増額、日の出団地33号線他舗装打替工事の事業年次の見直しによる市町村総合交付金及び市町村土木補助金の減額等。

歳出では、議員、特別職、一般職人件費の増額、保育所運営費の増額、東京消防庁事務委託料の増額、日の出団地33号線他舗装打ち替え工事の減額などです。

## Pick up 3

### 国民健康保険税の 税率の改定をします

(議案第54号) 日の出町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

平成29年度の国民健康保険の財政健全化と、平成30年からの東京都への一元化による被保険者への負担が激変しないことを踏まえ、基礎医療分、後期高齢者支援金分について改定するものです。

#### 主な改定内容

基礎医療分については、均等割りを2万4千900円から2万6千円に、年間1千100円引き上げ。

後期高齢者支援分については、均等割りを8千800円から9千300円に年間500円引き上げるものです。

## Pick up 4

### 町の福祉単独施策について、 見直しを行いました

(議案第60号) 日の出町お年寄りにやさしい福祉基本条例の一部を改正する条例

(議案第61号) 日の出町高齢者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

(議案第62号) 日の出町長寿化対策人間ドック事業の実施に関する条例

(議案第63号) 日の出町高齢者元気で健康に長生き医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

(議案第64号) 日の出町がん医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

(議案第65号) 日の出町子ども・青少年育成基本条例の一部を改正する条例

(議案第66号) 日の出町出産助成金支給に関する条例の一部を改正する条例

(議案第67号) 日の出町青少年の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

(議案第68号) 日の出町営住宅管理条例の一部を改正する条例

町の福祉単独施策について、各施策間の資格要件に不整合があったため、公平性の観点から一定の整合性を持たせるために、関連する施策の条例改正をするものです。

#### 主な改定内容

支給対象者等について、一定の期間町税等の滞納がないこと、居住期間を設定する等。

# 議 案 と 結 果

## <町長提出議案>

○…賛成 ×…反対

番号	議 案 名	自	明	公	町	共	新	結 果
48	日の出町特別職の職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
49	日の出町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
50	日の出町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
51	日の出町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
52	日の出町町税賦課徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
53	日の出町都市計画税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
54	日の出町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	可決
55	平成 28 年度日の出町一般会計補正予算（第 4 号）	○	○	○	○	○	○	可決
56	平成 28 年度日の出町国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○	可決
57	平成 28 年度日の出町下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○	可決
58	平成 28 年度日の出町介護保険特別会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○	可決
59	平成 28 年度日の出町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○	可決
60	日の出町お年寄りにやさしい福祉基本条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
61	日の出町高齢者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
62	日の出町長寿化対策人間ドック事業の実施に関する条例	○	○	○	○	○	○	可決
63	日の出町高齢者元気で健康に長生き医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
64	日の出町がん医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
65	日の出町子ども・青少年育成基本条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
66	日の出町出産助成金支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
67	日の出町青少年の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
68	日の出町営住宅管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
69	東京都市町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び東京都市町村公平委員会共同設置規約の変更について	○	○	○	○	○	○	可決
70	日の出町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	可決

## <議員提出議案>

番号	議 案 名	自	明	公	町	共	新	結 果
4	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	○	○	○	○	○	○	可決
5	地方財政の充実・強化を求める意見書	×	×	×	○	○	×	否決
6	学校施設環境整備事業に対する国庫補助の採択を求める意見書	×	×	×	○	○	×	否決

## <陳 情>

番号	陳 情 名	陳 情 者	審議結果
28 陳情第 11 号	日の出町における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情	東京都飲食業生活衛生同業組合 理事長 原田 啓助	趣旨採択
28 陳情第 13 号	日の出町における受動喫煙防止に関する陳情	東京都たばこ商業協同組合連合会 理事長 水谷 章道 青梅たばこ商業協同組合 理事長 小山 眞志	趣旨採択
28 陳情第 14 号	東京都日の出町における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情	東京都社交飲食業生活衛生同業組合 理事長 澤木 義平 西東京支部 支部長 塚口 智	趣旨採択

## <各会派の名称と所属議員>

会 派 名	略 号	所 属 議 員（★印…会派代表者）	
自民蒼政クラブ	自	★星野 茂・東 亨・平野 隆史・小玉 正義・東 玉喜	5人
明 政 会	明	★田村 みさ子・濱中 映慈・村木 満・清水 浩	4人
公 明 党	公	★嘉倉 治・縄井 貴代子	2人
町 民 党	町	★青鹿 和男	1人
日 本 共 産 党	共	★折田 眞知子	1人
一 新 の 会	新	★加藤 光徳	1人

# 一般質問

## 9人の議員

# 町政を問う

### 要旨



小玉 正義

**日の出町の予防注射の実施体制について問う**

**質** 今回発生した接種ミスの最終的な反省点とはどのようなことなのか。

**課長** 安全・確実を第一にすべきところ、能率的な接種方法を優先し、スピードを第一に考えて実施してしまっただ事が原因。

**質** 国推奨の個別接種への切り替えが遅れたこと、従来方法でのワクチンラベルと母子手帳の確認方法、接種する場所の広さ、カンファランスでの医療技術の討論等、危険要素をなぜ洗い出せなかったのかと言う反省があるのではないか。

**町長** 弁明の余地なく減給処分を自らに課してお詫びする。安全安心で慎重にやるべきと

ころ「慣れで業務を遂行したことに欠陥があった。」これを教訓としてより安全な予防接種を受けてもらうよう改善する。

**質** 誤接種を受けた児童の長期的な健康問題について。

**町長** 国立感染症予防接種の専門の先生のご

指導で今回事故の区切りとして「安全です」という考え方を取った。因果関係によって行政として最終的な責任もあることを前提として運営していく。

**質** ワクチンの準備を含め接種業務を医療機関に移管すべきと思われるが。

**課長** 医師会等の関係機関と調整し、来年度以降、個別接種へ順次切りかえる方向で進めて行く。



なわ い き よ こ  
縄井 貴代子



**日の出町の教育行政課題について問う**  
**質** いじめの現状を伺う。  
**町長** 28年10月から、法令上のいじめ認知件数を全て教育委員会へ報告する体制に強化した結果、児童・生徒の数で確認すると、10月においては、100件以上を認知した。  
**質** いじめ防止の今後の取り組みを伺う。

**町長** 各校が今まで以上に軽微ないじめも絶対に見逃さず、保護者とも連絡を密に図りながら組織的に対応できるように、今年度新たに設置された町の指導室を中心に、関係機関と連携して学校を支援していく。  
**質** 特別支援学級等は専門的な手腕のある教員が必要と考えるが見解を伺う。

**町長** 各校が今まで以上に軽微ないじめも絶対に見逃さず、保護者とも連絡を密に図りながら組織的に対応できるように、今年度新たに設置された町の指導室を中心に、関係機関と連携して学校を支援していく。  
**質** 特別支援学級等は専門的な手腕のある教員が必要と考えるが見解を伺う。

**室長** 専門性の高い教員による指導・支援が重要であることは十分認識している。教育委員会としては、各学校の校長の人事構想を受けて町としての人事構想を策定し、東京都教育委員会に対して的確に内申していく。  
**質** 配慮の必要な児童・生徒の保護者から現状の相談体制では不十分との声もあるが見解を伺う。  
**室長** 学校と教育委員会との連携体制のもと、教育相談がなされているが、十分でない面もある。  
 どのような支援を必要としているかきつと把握し、組織的に対応していけるように、学校へは引き続き指導していく。

**H29年度予算編成について問う**  
**質** 予算編成概要と規模、基本方針を伺う。  
**町長** 躍進ひので！ニュー5大作戦を町政の基本方針とする。一般財源の投入枠は限られると予測されるが、H28年度当初予算に近い状況と考えている。  
**質** 人口減少社会、少子高齢化社会の中、将来に備えた予算編成も視野に入れるべきである。町独自の福祉施策全般を見直し、改善について伺う。  
**町長** H28年度を各種事業検証の年と位置づけ、準備を進めている。7月から福祉施策検討会議を立ち上げ、公平性の観点から当面の見直し案をまとめた。

**質** 中長期的財政運の観点から「公共施設等  
**質** つるつる温泉、肝要の里は個別の事業評価を行うべきでは。  
**町長** 特定労働者人材派遣事業は28年度末で廃止になることで、指定管理者受託業務となり注力していきたい。  
**質** 町政規律の面から6億円近い町独自の福祉施策は、税の公平性から改善すべきでは。  
**副町長** 今回は見直しの基礎を作っている。



か くら おさむ  
嘉倉 治

つるつる温泉(上)と肝要の里(下)



# 清水 浩

## 指導室の設置について問う

質 指導室が設置されてからの成果について。

町長 具体的な成果は、学校への支援・指導体制の強化。学校不適応児童、生徒への対応。児童生徒の学力向上に向けた対応の3点。

質 児童・生徒の学力向上のための事業展開について。

室長 国や都の補助事業を活用し理科教育支援事業、学校支援ボランティア事業、教員の指導力を高めること。新規事業として研究指定制度の導入に向け検討していく。

質 研究指定制度の内容について。

室長 実施年度は1年1校とし2年間行う。研究指定校は、学力向上に資する学習教材開



小学校の授業の様子

発、効果的な指導方法を日の出町学習スタンをガイドとして研究成果をまとめ、授業改善を絶えず行う。

## 老朽化に伴う学校施設及び衛生環境を問う

質 学校の臭気対策について。

課長 原因の多くは床排水口からの臭気と考

えられる。29年度の予算措置で民間清掃会社に切り替えを検討する。

質 災害用マンホールトイレの設置場所について。

課長 学校のプール、体育館のそばに検討している。

29年度には、平井小学校で5基、本宿小学校で5基、平井中学校で12基、30年度に大久野小学校で5基中学校で15基を予定している。



# 田村 みさ子

## 女性職員の活躍の推進に関する計画を問う

質 計画概要と現状は。

町長 28年4月に制定した。女性職員は42名、全体の25%だが、管理職はおらず係長職は3名と少ない。町の業務は住民生活に密着しており、女性職員が管理監督職であることが女性の視点をより一層施策に反映させ男女とも生活しやすい町づくりにつながることか



女性消防隊による訓練の様子

ら、数値目標を掲げて計画的な人材育成に重点を置いている。

## 防災計画について問う

質 女性の視点を取り入れた防災体制づくりがされているか。

課長 女性消防隊が地域の共助体制づくりに大きく貢献している。

また先般の講演会で、「避難所が一番うまく回っている所は運営に女性が携わっており、女性の視点が大切

だ」と聞いてきた。避難所の運営や計画には女性の視点を取り入れる配慮をしていきたい。

## 地域包括ケアシステムについて

質 西多摩二次保健医療圏における自治体間での連携はあるのか。

課長 意見交換会を定期的に実施している。

## 質 実西多摩二

次保健医療圏に関する情報提供が必要と考えるが。

課長 地域資源マップを配布する予定。

質 マップに町内外広範囲の情報掲載を。

課長 西多摩二次保健医療圏の意見交換会で広域のマップ作成を提案したが、関係各所との調整が必要で早急な対応は難しい。呼びかけは続けていく。



星野 茂 (ほしの しげる)



町内の生活道路

うだが、もう少し柔軟な対応が求められると思うが。

**課長** 私道の扱いについては、現状においても町道の整備が行き届いていないことや、老朽化による損傷箇所等の補修要望も多いことから、今後町道整備を優先していく。  
**下水道未接続解消対応策を問う**  
**質** 下水道への接続を求める町の対応は。

**生活道路の整備状況について問う**  
**質** 窓口に寄せられている雨水対策等の相談件数と内容について。  
**課長** 相談件数は昨年度から今年度にかけて7件寄せられている。内容は、大雨の際の道路の冠水が3件、道路勾配と水路の機能不良が4件となっている。  
**質** 生活に直結することであり、取り組みの

現状と今後の方針を伺う。  
**課長** このところの近隣・周辺自治体での記録的な大雨は決して他人事ではないので、冠水対策の要望には解消にむけた調査・研究、浸透処理施設の検討を行っている。  
**質** (雨水に限らず、整備全般) 既存の私道に対する扱いは、町道優先を基本としているよ

う。  
**課長** 一般世帯へは職員が毎年一回、個別訪問をしてお願している。事業所へも同様の対応をしているが、大口の3事業所については書面での要請を行い、後日回答をいただき、そのうち2事業所については平成30年度迄には接続を検討している。



青鹿 和男 (あおしか かずお)

(仮称) 谷戸沢メガソーラー施設設置を問う

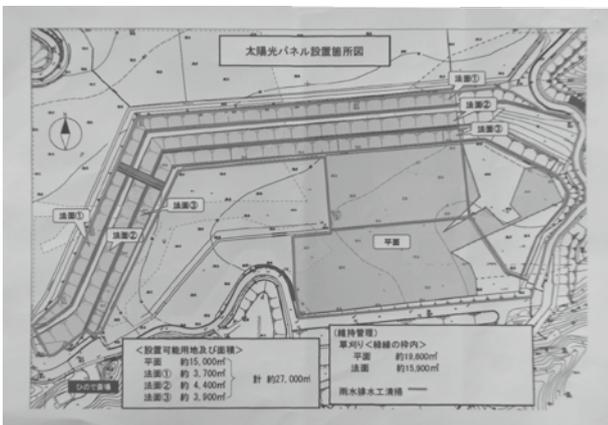
**質** 東京たま広域資源循環組合では、谷戸沢廃棄物広域処分場にメガソーラー施設を設置・運営するとしているが、目的および事業概要について伺う。

**町長** 再生可能エネルギーの活用による環境保全への取組みの一層の推進および埋立てが終了した谷戸沢廃棄物広域処分場用地の有効活用と聞いている。私の公約でも「10年後を展望した日の出町」と題し公共施設を対象に再生可能エネルギーの活用を約束している。

また、緑地の活用や地球温暖化対策等、跡地利用を有効に活用すべく働きかけを行ってきたところだ。事業概要については、発電

出力は約2MW、約2000kW。500戸の年間電力消費量に相当、多摩地域で最大級。設置場所は、谷戸沢グラウンドやサッカー場の南側の二期エリア。発電期間は、平成29年10月1日から20年間、循環組合が事業主体となり、設置から維持管理まで一括して民間の

リース会社と契約、包括リース方式で行うと聞いている。  
第四次長期総合計画で掲げている低炭素社会の構築を推進し、環境保全・災害対策・地域振興の観点からも、再生可能エネルギーの導入を、プロジェクトチーム会議で検討してきた。循環組合の事業に全面的に協力を行っていく、町としてのメリットも検討して頂けるようお願いをしていく。



谷戸沢メガソーラー設置図



# 折田 眞知子

## 介護保険総合事業の進捗と対策を問う

**質** 要支援1・2利用者の通所・訪問介護の単価と基準は。

**課長** 現在、介護予防給付サービスを提供している全ての法人から事業参加の意向が示され、通所型・訪問型とも国サービス基準を移行し実施に向け調整を行っている。単価基準はほぼ同額で進めている。

**質** 町の検討課題は。

**課長** 医師会による研修やグループワークを行い、顔の見える関係を構築し、連携に期待している。

**要介護1・2利用者のサービス引き下げについて問う**

**質** 町の課題を問う。

**課長** 平成30年介護保険第7期事業計画では、生活援助サービスを介

で、27年12月より日の出町在宅医療介護連携検討会が活動を開始し、現状と課題の検討を進め、今年度中に地域資源マップを作成する。

## 減災対策として感震ブレイカー設置を問う

**質** 設置助成の制度化を。

**課長** 家庭への普及が望ましい装置であり、例えば自治会の民間防災組織育成助成金の活用の中で検討していた

**質** 医療分野の取り組みは。

**課長** 在宅介護連携推進事業の取り組みの中

**地域包括ケアシステムについて問う**

**質** 医療分野の取り組みは。

**課長** 在宅介護連携推進事業の取り組みの中

で、27年12月より日の出町在宅医療介護連携検討会が活動を開始し、現状と課題の検討を進め、今年度中に地域資源マップを作成する。



高齢者外出支援バス

## 設置助成の制度化を。

**課長** 家庭への普及が望ましい装置であり、例えば自治会の民間防災組織育成助成金の活用の中で検討していた

**質** 設置助成の制度化を。

**課長** 家庭への普及が望ましい装置であり、例えば自治会の民間防災組織育成助成金の活用の中で検討していた

**質** 設置助成の制度化を。

**課長** 家庭への普及が望ましい装置であり、例えば自治会の民間防災組織育成助成金の活用の中で検討していた

**質** 設置助成の制度化を。

**課長** 家庭への普及が望ましい装置であり、例えば自治会の民間防災組織育成助成金の活用の中で検討していた

# ひらの たか し 平野 隆史



## 残土・埋め立ての状況について問う (第22自治会)

**質** 残土埋め立て状況について。

**課長** 東京環境局多摩環境事務所を確認したところ、法面の種子吹き付け、植栽などの工事が終了し、11月28日に完了、検査も終了したと聞いている。

今後、町として、多摩環境事務所と連携し、

地元の皆様は、心配されている盛土の崩壊や土石流の発生など、万一の災害に備え定期的にパトロール等を実施し、監視していく。



土地の埋め立てについての看板

に関する陳情や整備について。

**課長** 町道の陳情につきましては、町道の位置の変更または払い下げは行わず、簡易的な整備を行うことで議会

で採択されており、現状の位置で、散策路として整備を行う準備をしていく。

**質** 東京都への残土条例制定への取り組みは。

**課長** 東京都町村会として29年度予算要望で町長自ら、都市整備局・環境局に対して条例の制定や自然保護条例の罰則強化等の要望をし、また新たに東京都町村会の重点要望事項として都知事はじめ、各局に対して強く要望していく。

また、埋立地の上下流部の沢と井戸において現在実施している水质調査についても、当面毎月継続して異常がないか確認していく。

**質** 地元の方々が提出された町道の払い下げ

今後、町として、多摩環境事務所と連携し、

地元の皆様は、心配されている盛土の崩壊や土石流の発生など、万一の災害に備え定期的にパトロール等を実施し、監視していく。

また、埋立地の上下流部の沢と井戸において現在実施している水质調査についても、当面毎月継続して異常がないか確認していく。

**質** 地元の方々が提出された町道の払い下げ

市町町 川庄木 鴨東茂 千葉県 千葉木 千 栃

# 視察レポート

## ◎ 鴨川市 「統合型小中一貫教育」について (長狭学園)

### ◎ 目的

鴨川市は各学区の特色を生かした小中一貫教育に取り組んできた。

小中一貫校である「長狭学園」を視察し、これまでの経緯、特色ある取り組みについて今後の日の出町の教育行政に役立たせるため。

### ◎ 市の基本方針

長狭地区の少子化傾向の進行に伴い、3小学校を統合し、現在の長狭中学校の広大な敷地を活用し現行の義務教育6・3制に対処するため、長狭中学校の敷地に校舎を増築し、小中一貫校とする。



### ◎ 教育課程の特色

9年間の学びを発達段階から、前期(1～4年)中期(5～7年)後期(8・9年)に大別し、教育活動の連続性を図る。

5・6年生からの教育担任制の導入や児童生徒活動から、小中のスムーズな移行をはかるなど。

### 所感

・小中一貫の特色を生かした取り組みがなされている。中学生が一年生に本の読み聞かせなどを行っている。

・ブログを開設しており、学校の様子がよくわかる。

・教員数が多いので、生徒への指導が手厚くでき、学力向上につながっている。

・中学校の先生が小学校の授業に参加することにより、つまずきがわかり指導方法がわかる。教職員と生徒が明るく元気に学校生活をしている姿が印象的。

### ◎ 東庄町 「地域包括ケアシステム」について

### ◎ 目的

東庄町では、保健医療福祉の一体的な取り組みと



して東庄病院、オーシャンプラザ、健康福祉総合センターを設置し、地域包括ケアシステムに取り組んでおり、今後の取り組みの参考とするため。

### ◎ 地域包括ケアシステムの推進体制

東庄病院や、保健福祉総合センターが中心となり、町内外の医療機関や介護施設などの連携を図り、町の健康福祉課がまとめ役となっており、町内の医師、薬剤師、介護関係事業所、施設、自治会、民生委員、シニアクラブ、ボランティア、見守りネットワーク等と連携し、在宅医療と介護の連携強化に向けた取り組みをしている。

### 所感

今後、療養型病棟48床の課題に知恵を絞っていると話していたが、町長を先頭に徹底した経費の削減や職員が地域に密着するため、PTAや消防団、自治会長を担って日頃から信頼関係に心がけていることも特徴のように感じた。

東庄町の取り組みに学ぶところが多くある。

### ◎ 茂木町 「町有林を活用した木造校舎について」 (町立茂木中学校)

### ◎ 目的

茂木町では150ヘクタールの町有林に植林された杉、桧を活用した茂木中学校改築事業を行った。日



の出町の今後の校舎の建築の参考とするため。

### ◎ 改築事業のコンセプト

茂木中学校の改築は、旧逆川財産区の町有林を活用することから、「森の国の学び舎づくり(町有林を活用した町の歴史と町民の心に残る学び舎づくり)」をコンセプトとして取り組んだ。

これらの木材の育成に関わった多くの皆さんに心から敬意を表すため、最大12メートルの丸太材や無垢の梁材を利用した構造とするほか、内装もすべて無垢の板材を使い、天井、壁、床を仕上げることにした。

また、改築事業を、児童生徒の校外学習の場として活用し、伐採した現場や木材のストック場の見学、現場体験など、町内の林業や木材産業の状況について学ぶ機会を設けた。

### 所感

町の観光スポットになっている。

木のぬくもりを感じながら生徒がのびのびと生きている姿が印象的。

生徒の利便性を重視し設計されていた。

今回の視察を通じて木造校舎の建設まではいかなくても参考になる事がとても多かった。

日の出町議会

# 第2回「町民懇談会」

11月20日に開催しました



第2回の懇談会のテーマを「町民と共に歩む議会」町民との対話から生まれるまちづくり」とし、議会基本条例、議会議員政治倫理規定の説明。28年9月議会で審議された平成27年度の日の出町の決算の説明、各常任委員会の報告等を行いました。その後行われた懇談会では参加者の皆様から様々な意見が出されました。

**\*皆様からいただきました意見につきましては、町部局に報告するとともに、議会としても、今後調査、研究をしていきます。**

**このような意見がありました**

- ・中学生の下校時の見守りについて
- ・高齢者の免許証の返納の問題について
- ・町外職員の採用について防災面の取り組みは
- ・町内のトイレについて
- ・野鳥の森の整備について
- ・東京オリンピック・パラリンピックへ向けての青少年の育成について
- ・喫煙マナーについて

ご来場ありがとうございました。



# 議会日誌

## 3月定例会日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
2/19	20	21	22	23 議会運営 委員会	24	25
26	27	28	3/1 本会議 (議案審議)	2 本会議 (一般質問)	3	4
5	6 総務 まちづくり 常任委員会	7 厚生文教 常任委員会	8 議会運営 委員会	9 予算決算常任委員会	10	11
12	13	14	15	16	17 本会議 (議案審議)	18
19	20	21	22	23	24	25

午前10時開会 議会を傍聴しましょう

## 西多摩郡議員親睦会



9月30日、日の出陶房・日の出山荘にて開催されました。

## 議会だより表紙写真募集

- ・応募期間 平成29年2月1日～平成29年4月5日
- ・第182号に掲載予定
- ・町内で撮影した春をイメージした写真
- ・一人につき1作品応募できます。
- ・明らかに人物が特定される場合は本人の了承を得て応募をお願いします。
- ・詳しくは、議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせ下さい。

## 議会だより編集委員

清水 浩 縄井 貴代子 村木 満  
小玉 正義 折田 眞知子 東 玉喜  
(編集委員長)

## 日の出町議会事務局

☎(597)0511 内線363

再生紙を使用しています。

## 編集後記

大きな地震や大火、地元近くでも何十年ぶりの大雨が降るなど本  
当に異常気候や天災の多い昨年でした。まだ暫く寒い日が続きます  
が、今年は穏やかな年であって欲しいと祈りたいと思います。  
さて、議会だより紙面を『もっと読み易くする』ことに取り組ん  
で来ましたが、効果は出ているでしょうか。限られた紙面の中で理  
解を深めて頂けるように今後も努力を続けます。この面でもご意見  
をお寄せ頂きます様よろしくお願いいたします。

編集委員 小玉正義